Game生活のススメ Vol.161

シンプルなルールで大人でもグループで手軽に楽しめるカードゲームを2点紹介します。コンパクトでお出かけにももってこいです

『犯人と対決！ の巻』

バンディド

¥1,540
（Helvetiq社/スイス）

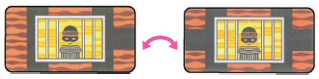
牢屋から脱出しようとする悪者（バンディド）を逃がさないように、すべての通路の端を行き止まりにする協力型カードゲームです。

- 人数：1～4人　・対象：6歳位から
- 時間：15分位
- 道カード 69枚、スタートカード 1枚

遊び方

スタートカード：大きめのテーブルの中央に置きます。
道カード：よく混ぜ、3枚ずつを手札に、残りは山札に。

スタートカード：牢屋から脱出をたくらむ悪者



裏表で難易度が変わります。
出口5つ（易）・出口6つ（難）

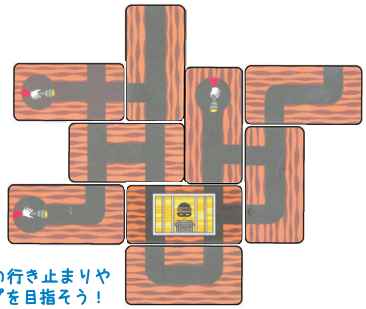
▼
▼

自分の番で、手札1枚を選び、通路が上手くつながるように並べます。山札から1枚補充し、手番交代。

山札

手札3枚

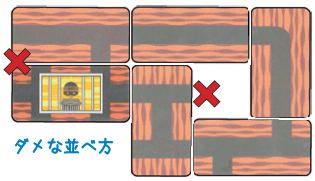
手札がどうやってもつなげられないときは3枚とも山札と交換できます。



通路の行き止まりやループを目指そう！

ゲームの勝敗

- すべての通路を行き止まりにできたら皆の勝ち。
- 出せるカードが尽きても通路が閉じなかったら皆の負け。



ダメな並べ方

☆おすすめポイント
- 簡単なルールで、パズル的要素があり、子どもから大人まで幅広く楽しめます。
- 道をどうつなげるか相談し合いながら、協力して遊べます。

犯人は踊る

¥1,320
（すごろくや/日本）

探偵として犯人を見事に当てるか、あるいは犯人として最後まで逃げ切るか。
カードの役割を上手く使いながら推理する、ババ抜きをより面白く発展させたようなカードゲームです。

- 人数：3～8人　・対象：8歳位から
- 時間：10～20分位
- カード 32枚
  - 犯人、いぬ、第一発見者、少年 x各1
  - 一般人、たくらみ x各2
  - 目撃者、情報操作 x各3
  - 探偵、うわさ x各4
  - アリバイ、取り引き x各5

遊び方

プレイ人数に応じて使用するカードを用意し、よく混ぜ、各プレイヤーに4枚ずつ配ります。

▶

＜第一発見者カード＞を持っている人がカードを出し、ゲームスタート。時計回りに手番が回ります。
手番では、手札より1枚出し、カードに書かれた内容を行います。（カードを交換する、犯人を当てる etc.）

カードは全12種類

＜犯人＞ ＜アリバイ＞ ＜たくらみ＞

犯人側のカード

＜探偵＞ ＜いぬ＞ ＜少年＞

犯人を追い詰めるカード

＜うわさ＞ ＜情報操作＞ ＜取り引き＞

交換系カード

＜第一発見者＞ ＜一般人＞ ＜目撃者＞

一般人系カード

ゲームの勝敗は3パターン

	勝者	敗者
＜探偵カード＞で犯人を当てる	探偵	犯人＆＜たくらみカード＞を出した人
＜いぬカード＞で＜犯人カード＞を引き当てる	いぬ	犯人＆＜たくらみカード＞を出した人
最後の1枚で＜犯人カード＞を出す	犯人＆＜たくらみカード＞を出した人	その他の人

☆おすすめポイント
カードに役割が書かれていて分かりやすく、子どもから大人まで、大人数で手軽にワイワイ楽しめるカードゲームです。